

道東から出発の

新ボランティア紹介

平成26年度
3次隊

青年海外協力隊



澤田 明日香さん

出身:小清水町
派遣国:モンゴル
職種:障害児・者支援



個別的教育支援計画のようなものをモンゴルで活用できるようにしたいと思っています。

- ① モンゴルでは地方都市の学校で特別支援学級の先生に日本で行っている特別支援教育の実践を伝えます。
- ② 自分のできることは少ないのですが、モンゴルの方と一緒に少しでも子供たちの将来が明るくなるように努めたいと思います。

モンゴル語の先生と同期のモンゴル隊員

- 現地での活動内容
- 活動の抱負・目標
- 2年間でやりたいこと

青年海外協力隊



坂口 愛さん

出身:幕別町
派遣国:ナミビア
職種:コンピュータ技術



任国の文化を楽しむ。

- ① 保健社会サービス省の特別プログラム局にて、モニタリング評価システムのシステム設計、開発、及びプロジェクト管理支援全国モニタリング評価計画に基づき、HIV/AIDS、結核、マラリア、性感染症を調査するシステム構築全般を支援する。
- ② 任国の人々に、我々が持つ「技術」、「経験」、「見方、考え方」を伝える。また、より安全でより平和でより豊かな社会づくりに貢献したい。

「任国事情・活動セミナー」座談会にて

ボランティアセミナー

畑deボランティアセミナー 「世界とつながる 十勝の農畜産業」



青空の下で集合写真

どこまでも広がる空、広大な畑、そこのできる作物、そのすべてが北海道を物語るのに欠かせない大切な存在です。この環境のなかで、十勝らしさを前面に出し、北海道十勝に特化した農畜産業に焦点をあてたボランティアセミナーを実施することができました。10月4日に開かれたこのセミナーは、将来農畜産業を目指す青年に対し、彼らの海外への視野を広げ、ボランティア事業への参加促進をはかること、また専門職種での海外経験を有した視野の広い農畜産業を目指す人材を発掘することを目的としています。当日は、参加者、講師、スタッフあわせて約20名の参加でした。帯広畜産大学JICA協力隊連携事業でチーム派遣された短期隊員よりチーム派遣のよさを発表していただき、長期隊員には「挑戦することへの意味」と題して、農家に生まれ育った環境から現在に至るまでをお話いただきました。迷い悩みながらも自分の思うことを信じ、生かされている今を大切に過ごして挑戦し続けてきた講師の話に、参加した高校生は本当に胸をうたれたようで、現在の自分自身が置かれている環境と重ねながら感慨深く聞いていました。

次にシニアボランティアの方にもお話をいただき、常に謙虚な姿勢で現地の方々と話し合うことの重要性を学んでいました。青年海外協力隊の方には、村人と養蜂を行うなかで、どんどん活動が広がっていき、マーケットで販売するようになるまでの様子をお話いただきました。

どのような立場で参加したとしても、目の前のことと向き合う気持ちは共通しており、その経験知からの説得力に参加者は引き込まれていきました。

お昼は畑で採れた野菜を使ったピザやスープ、サラダを食べながら、講師への質問も絶えませんでした。

畑deボランティアセミナー是和やかな雰囲気の中、熱く、そして未来へ向けての力を蓄える、そんな素敵なセミナーとなりました。



畑の中のレストラン「ふわふわ畑」
帯広市上清川町

研修 コース 紹介

帰国後の技術の普及は 「PDマニュアル」で!

課題別研修「地域資源に基づいた乳肉生産のための牛の飼養管理」は、帯広畜産大学の企画・運営の下、農家への指導的立場にある技術指導者・普及員・獣医等を対象に、飼養管理の改善を通じた乳生産の量と質、並びに肉生産の改善を図ることを目的とした研修です。

「PDマニュアル」とは、Process Description法(技術の工程に沿った写真と解説文を組み合わせる普及用の教材を作成する手法)に基づくマニュアルです。その大きな特長は、写真付きのため説明が分かりやすい点、パソコンなどの機材が使えない途上国の畜産現場でも活用が可能な点、そして少ない材料・機材で比較的容易に製作できる点です。

マニュアルの作成はグループ毎に役割(作業を行う役、写真を撮る役、作業の工程・留意点などを記録する役)を分担して行うため、チームワークも養われます。帰国後にPDマニュアルを使って自分が説明する姿を思い描き、日々、作成に熱が入ります。



JICA北海道(帯広) 図書資料室

「JICAプラザ」からのご案内

LIBRARY

おしゃれなエコが世界を救う 女社長のフェアトレード奮闘記

著者 サフィア・ミニー
発行 日経BP社



バブル期に来日し、好景気に沸き立つ人々とその暮らしに衝撃を受けたイギリス出身の著者が、フェアトレード会社を日本で立ち上げます。本書では、人々の興味を引くフェアトレード商品を作り出し、広く知れ渡るまでの奮闘エピソードが綴られています。その他、エコな生き方を楽しむ方法やアクションを起こしたいと思っている方々へのアドバイスも紹介されています。

■開室時間:火曜日から日曜日(13:00~18:30) ■閉室時間:月曜日・祝日・年末年始
■お問合せ:TEL/FAX 0155-41-4100

GALLERY

JICA ガラリー展示のお知らせです。

浦島久さんは豊頃町出身で、現在、帯広市で英語学校「ジョイ・イングリッシュ・アカデミー」を運営しながら、写真家としても活動しています。今回の写真展のテーマは「ハルニレの木」です。豊頃町の十勝川河川敷にはハルニレの木が立っています。四季を通じてそこを訪れる人々を魅了していますが、その美しさは何と言っても冬が一番です。今回の写真展では、その冬の写真を展示します。多くの方のご来館をお待ちしております。



「Grace」

■テーマ:浦島久写真展「ハルニレ冬物語」
■期間:~2015年2月3日まで(予定) ■開館時間:午前7時~午後10時
■場所:JICA北海道(帯広)1階(帯広市西20条南6丁目1-2)
■お問合せ:十勝インターナショナル協会 電話0155-41-4100

新スタッフ紹介

飯田課長と奥様(カザフスタンのバイテレク前で)



飯田 次郎(課長)

北海道は以前から私の憧れの地でした。小樽や根室に友人を訪ねたり、知床、稚内、えりも海を見たりしました。地元の人からは、「北海道は冬がいいですよ。」とよく聞きましたので、一度は、住んでみたいと思っていました。2010年のAPEC経済大臣会合が札幌で開かれた時は、ロシア経済発展省大臣のリエゾンを務める機会があり、ロシア政府の皆さんと楽しく仕事をしました。大臣は白樺並木を車窓越しに見ながら、「北海道の自然はロシアに似ている」と、とても気に入っていました。私はロシアを含めて旧ソ連のうち4か国で働いたことがあるので、多分、寒さには強いと思います。私のタジク人の妻は北海道が初めてですが、気に入ったようで、よかったです。

真ん中が山崎さん



山崎 みつ美

9月からJICA北海道(帯広)に着任しました山崎です。旭川市出身で、主人の転勤で今年から帯広にやってきました。以前、青年海外協力隊でボランティアとしてパラグアイで活動したことがきっかけでJICAの仕事に興味を持ち、運よくお仕事をさせて頂くことになりました。ここには、世界各地から研修員が集まります。私自身、海外にいた時は心細くホームシックになったので、彼らに少しでもリラックスして日本のことを好きになってもらおうと、苦手の英語を駆使して、なんとかお話をできるようにとトライしています。一見恐そうでも、皆明るくて、笑顔のやさしい研修員ばかりです。みなさんも、気軽に声を掛けてあげてください。

OBIC通信



雪玉で作ったスノーキャンドル

冬の楽しみとして「雪」があります。雪は自分の思いをすぐ形にできる優れた自然の贈り物です。今回は簡単にできる「スノーキャンドル」を紹介いたします。雪玉をつくり円柱になるように重ねていきます。ある程度高さができたらできあがり!あとは、ろうそくに火を灯して中に入れるだけです。雪玉の隙間から漏れる優しい光は、心と体を癒してくれますよ。

(文・写真:石井優子)



What's New!

JICA北海道(帯広)発
道東インフォメーション
お問合せ
TEL0155-35-1210

【国際フェスタ in とかち 2015 International Festa in TOKACHI 2015 ~十勝から、世界に羽ばたく人材を育てる~】

「バレンタイン一揆」(14日)、「世界の果ての通学路」(15日)の無料上映会&映画に関連したトークイベントを実施します。フェアトレードの活動や実際に海外で教員をしていた方の実体験を聞けるチャンスです。また、普段は一般公開していないJICAの研修員が生活している部屋を見て頂ける施設探検ツアーや、フェアトレード商品の試食・試飲、雪玉でつくるスノーキャンドル等様々なプログラムを企画していますので、是非遊びに来てください。



バレンタイン一揆



世界の果ての通学路

■日時:2015年2月14日(土)&15日(日) 10時00分~15時00分
■場所:森の交流館・十勝 及び JICA北海道国際センター(帯広)(帯広市西20条南6丁目)

© 2013 - Winds - Ymagis - Herodiade

JICA北海道(帯広)研修コース発表会一般公開のお知らせ

JICA北海道(帯広)では、市民の皆さんにJICA研修員受入事業を広く理解していただきたく、研修発表会を公開しています。途上国の現状を知るとともに、参加研修員が十勝・帯広で学んだ技術を帰国後どのように活かしていくのか聞いてみませんか?発表は英語で実施されます。

◆平成26年度 冬のスケジュール ◆(定員5名・先着順)

日程	研修コース名	内容	場所	締切り
1/19(月)	「農民主導による普及手法(B)」コース	国紹介/研修計画	帯広畜産大学	1/15
2/12(木)	「農民主導による普及手法(B)」コース	研修成果	帯広畜産大学	2/9
2/13(金)	「農業地域における経営力・マーケティング強化による地場産業振興(B)」コース	研修成果	JICA北海道(帯広)	2/10

■お申込・お問合せ:JICA北海道(帯広) TEL 0155-35-1210 担当:鈴木 ※お申込は締切日までをお願いします。(定員5名・先着順)

※研修発表会は変更になることがあります。(開催日が近くなりましたらホームページでご案内をいたします)